



# スポーツ秋田

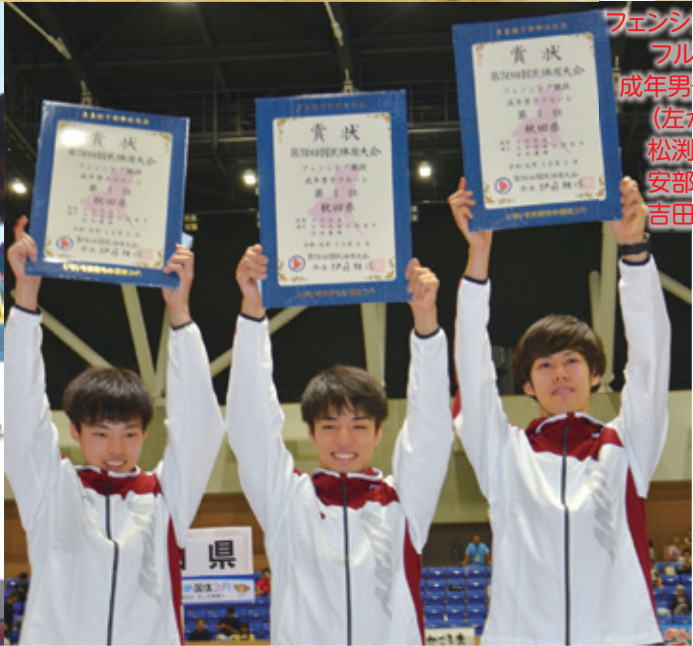
題字：辻 兵吉 元県体協会長



バスケットボール競技  
成年男子 3連覇  
(J R 東日本秋田)



陸上競技  
成年女子 400mハードル  
関本萌香 優勝



フェンシング競技  
フルーレ  
成年男子 優勝  
(左から)  
松淵真平  
安部慶輝  
吉田花道

第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体2019

(写真提供：秋田魁新報社)

## contents

- ◎2020年東京オリンピック代表内定 秋田県選手第1号… 2
- ◎第74回国民体育大会優勝インタビュー…………… 3
- ◎第74回国民体育大会(本大会)入賞者一覧…………… 4
- ◎第74回国民体育大会成績と前年度比較…………… 5
- ◎第74回国民体育大会報告会…………… 6
- ◎高校スポーツ。いざ、冬の陣!!…………… 8
- ◎スポーツ能力測定会&スポーツ体験会…………… 10
- ◎期待のジュニアアスリート VOL.5…………… 11

- ◎中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト…12
- ◎秋田トップアスリート無料紹介所より…………… 14
- ◎日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰  
トップアスリート雇用企業へ感謝状贈呈…………… 15
- ◎総合型地域スポーツクラブ連絡協議会  
チャリティーゴルフ大会の開催…………… 16
- ◎バスケットボール競技普及等助成の報告(寄付事業)……17
- ◎県内スポーツの主なできごと・賛助会員・寄付者  
関係団体創立記念行事一覧…………… 18

オフィシャルパートナー

秋田ゼロックス株式会社

DOWA



カヌー・スラローム女子カナディアンシングル

佐藤 彩乃(仙北市)選手

2020東京オリンピック代表内定

～秋田県選手第1号～



佐藤彩乃選手は秋田県仙北市出身。仙北市立神代中学校1年の時にカヌー競技を始め、秋田県立角館高等学校卒業後、カヌー競技の強豪国スロベニアに渡り、修行を重ねました。

2017年に秋田県トップアスリート就職支援事業で、株式会社秋田病理組織細胞診研究センターに就職し、会社や家族のサポートを受けながら、スロベニアを拠点とし、国内外の大会で活躍しています。

今年6月から10月にかけて行われた代表選考レースの合計獲得ポイントで、日本勢最上位となり、10月20日に東京オリンピック・カヌー・スラローム女子カナディアンシングルの日本代表に決まりました。同時に本県選手の東京オリンピック内定第1号となりました。



東京五輪日本代表最終選考会 (2019.10.20)  
東京都江戸川区 カヌー・スラロームセンター



応援にかけつけた所属先の  
阿部一之助社長(右)



スロベニアでの練習の様子



辻県体協副会長から激励費の授与



激励費を受領した佐藤選手



# 茨城国体2019

## 優勝者インタビュー

上段：<sup>くろまさ</sup>黒政 <sup>せいこう</sup>成広 監督【東日本旅客鉄道株】  
 中段：<sup>せきもと</sup>関本 <sup>もえか</sup>萌香 選手【早稲田大学】  
 下段：<sup>まつぶち</sup>松渕 <sup>しんべい</sup>真平 選手【日本大学】

祝3連覇!!!  
 バスケットボール競技  
 成年男子  
 チーム秋田

黒政 成広 監督



### 1. 決勝に向けて特に意識したこと

決勝は、会場全体が茨城県民で埋め尽くされると予想されたため、私は選手たちに多くの方々の前でプレーできることに感謝すると共に、会場の雰囲気を楽しもうと伝えました。また、勝ち切るためには、スタッフ、選手全員が自分の役割をしっかりと認識すること、そしてゲームプランを確実に遂行する努力が必要不可欠であると思いつきました。

### 2. 優勝しての感想

これまでサポートしてくれた方々に勝利で恩返しできたことを嬉しく思います。また、今回の優勝は長いペッカーズの歴史の中で積み上げてきた力がひとつになったから

こそ達成できたと強く感じています。

### 3. 勝因について

ハードな練習、地味な練習は必要であると選手たちが理解し、3連覇に向けて熱意を持ってトレーニングに励んできました。そういった中で今までの選手の努力と勝ちたいという強い気持ちが成果として表れました。

### 4. 普段の練習で気をつけていること

常に熱量マックスで練習に取り組むことを意識しています。精神的にも肉体的にもハードなことを共に乗り切ったとき、チームワークは生まれると信じ活動して、現状に満足せず、更に質の高い練習を選手と共に作り上げていきます。

### 5. 今後の抱負(目標)

私たちの使命は、勝利によって秋田を元気にすることです。これからも勝ちにこだわると共に、地域に愛されるチームづくりを心がけていきます。

祝初優勝!  
 陸上競技  
 成年女子  
 400mハードル

関本 萌香 選手



### 1. 決勝に向けて特に意識したこと

予選では5~6台目や7~8台目の歩数の切り替えの部分でハードル間のタイムの落ち幅が大きかったため決勝でスムーズな切り替えを行うことを意識しました。前半から力まずレース全体を通して流れるような展開にすることでタイムや順位を狙えると考えていました。

### 2. 優勝しての感想

国体は秋田県代表として走る大会で私にとっては特別だったので優勝できて嬉しかったです。成年女子400mHという種目で私が学生のうちに出場できるのは今年で最後であり、秋田県のために勝ちたいという思いが強くなりました。高校1年生の時から出場

させていただいている国体で今回初優勝を果たすことができ本当に嬉しかったです。

### 3. 勝因について

決勝前にレースでのポイントをしっかりと決め、そこを意識し本番でできたことが勝因に繋がったかなと感じています。予選を通して出た課題点を決勝で改善できたのでベストに近いタイムを出せたと思います。そして、一番は秋田県チームの皆さんの応援があったからこそ優勝することが出来ました。招集に行く前や選手紹介の時、レース中とたくさんの応援がありとても心強く、頑張れました。

### 4. 普段の練習で気をつけていること

練習では予選での課題でも挙げたように、ハードル間のタイムの落ち幅を小さくすることを心がけています。最初から最後まで一定のリズムで走るために、普段からどの台数で跳ぶ時もタイムを計って確認するようにしています。

### 5. 今後の抱負(目標)

今年目標としていた57秒台で走ることが出来たので、来年まずは56秒台を目指していきたいです。そのためには400mを速く走れる走力が必要となってくるため、走り込んで走力をつけていきたいと思っています。また、ハードルが終わってラスト40mで越されてしまったり、差を縮められることが多いので、来年はそこでしっかり勝負出来るようにしたいです。

祝2連覇!!  
 フェンシング競技  
 フルレ  
 成年男子  
 チーム秋田  
 松渕 真平 選手



### 1. 決勝に向けて特に意識したこと

この日は私自身あまり調子が良くなく焦っていたのですが、決勝ではどんな状況であっても“冷静”に戦うことだけを意識しました。あとは、いつも通りプレーすること、この舞台を思い切り楽しむことをチーム全員が意識するようにしました。

### 2. 優勝しての感想

2連覇を達成することができましたが、昨年に比べて今年は苦しい試合が続き、優勝した瞬間はとにかくホッとし、一緒に組んだ二人の先輩方の顔を見たら涙が止まりませんでした(笑)。そして、何より会場が一番元気な応援をしてくれた秋田県チームの方達には、今年もたくさんの勇気とパワーをもらいました。

### 3. 勝因について

三人が最後までお互いを信じ合って、カバーし合い、どんな状況でもベンチから声を出して助け合えたことが最大の勝因でした。チームで一番歳下ですが、先輩達が常に楽しませてくれて終始どこの県よりも明るい雰囲気の中で試合ができました。

### 4. 普段の練習で気をつけていること

常に怪我をしないことだけは心がけています。練習前後のストレッチは時間をかけて行い、トレーニングでフィジカルを強化してどんな動きにも対応できるようにしています。そして、普段の練習から声を出してチームを盛り上げながら、少しでも調子の波を小さくし、毎回の練習などで試合数をこなして技に自信をつけ、負けず嫌いな私は常に勝負にこだわって練習をしています。

### 5. 今後の抱負(目標)

もちろん国体3連覇です。国体は何が起きるか分からないと言われています。その中で昨年も今年も数々の優勝候補を倒せたことは、秋田県の勝負強さを全国に示せたと確信しています。来年もまずはしっかりメンバー争いに勝ち、秋田県の総合優勝に貢献したいです。個人的にはU20の世界選手権に出場してメダルが取れるよう、国内・海外での試合で上位に入ることが最大の目標です。



## 茨城国体2019 秋田県選手団 入賞者一覧

No.	順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	点数
1	1位	バスケットボール	成男	チーム秋田（J R東日本秋田）			40
2	1位	陸上競技	成女	400mH	関本 萌香	早稲田大学	8
3	1位	フェンシング	成男	フルーレ	チーム秋田		24
4	3位	レスリング	成男	フリースタイル 97kg級	門間 順輝	秋田市消防本部	5.5
5	3位	レスリング	成男	グレコローマンスタイル 77kg級	櫻庭 功大	自衛隊体育学校	5.5
6	3位	レスリング	少男	グレコローマンスタイル 92kg級	藤原 颯人	秋田商業高校	5.5
7	3位	フェンシング	成女	フルーレ	チーム秋田		18
8	3位	カヌー（SL）	成男	C-1 15G	佐々木 優	秋田県カヌー協会	6
9	3位	陸上競技	少男	走幅跳	杉本 賢真	秋田高校	6
10	4位	カヌー（SL）	成男	C-1 25G	佐々木 優	秋田県カヌー協会	5
11	4位	弓道	成男	チーム秋田			15
12	5位	レスリング	成男	フリースタイル 86kg級	成田 竜也	秋田県体育協会	2.5
13	5位	レスリング	少男	フリースタイル 125kg級	佐々木 優太	明桜高校	2.5
14	5位	空手道	少男	組手個人戦	菅原 健人	大館国際情報学院高校	2.5
15	5位	レスリング	少男	グレコローマンスタイル 60kg級	保坂 典樹	秋田商業高校	2.5
16	5位	バドミントン	成女	チーム秋田（北都銀行）			7.5
17	5位	ボクシング	成女	フライ級	野村 琉夏	日本大学	2.5
18	6位	水泳（競泳）	成男	バタフライ 100m	三浦 心	中京大学	3
19	7位	ラグビーフットボール	成男	チーム秋田（ノーザンブレッツ）			7.5
20	7位	ウエイトリフティング	成男	109kg級クリーン&ジャーク	藤原 和朋	秋田日重会	2
21	7位	フェンシング	少女	フルーレ	チーム秋田		6
22	7位	陸上競技	少男	砲丸投	榎本 仁夢	横手清陵学院高校	2
23	7位	カヌー（SP）	少男	K-1 200m	阿部 智礼	本荘高校	2
24	7位	クレール射撃	成男	スキート	チーム秋田		6
25	8位	自転車	少男	1kmタイムトライアル	糸井 星夜	大曲農業高校	1
26	8位	ウエイトリフティング	成男	109kg級スナッチ	藤原 和朋	秋田日重会	1
27	8位	ウエイトリフティング	成男	+109kg級スナッチ	腰山 浩汰	秋田県体育協会	1
28	8位	ウエイトリフティング	成男	+109kg級クリーン&ジャーク	腰山 浩汰	秋田県体育協会	1
29	8位	陸上競技	少女	100m	成田 千栞	秋田和洋女子高校	1
30	8位	カヌー（SP）	少男	K-1 500m	阿部 智礼	本荘高校	1



# 第74回国民体育大会成績と前年度比較

- 第74回国体 総得点 307.5点 + 参加点400点 = 707.5点
- 第73回国体 総得点 387.5点 + 参加点400点 = 787.5点

	冬季国体	本 国 体	天皇杯得点	天皇杯順位	皇后杯得点	皇后杯順位
第74回	114.5点	193.0点	707.5点	44位	433.0点	43位
第73回	110.0点	277.5点	787.5点	38位	450.0点	39位

第74回大会 総合成績

天 皇 杯

(男女総合得点)

県名	順位	得 点
茨 城	1位	2569
東 京	2位	2217
愛 知	3位	1789
埼 玉	4位	1735
神奈川	5位	1643.5
大 阪	6位	1552
千 葉	7位	1470.5
京 都	8位	1410
北海道	9位	1397.5
福 井	10位	1391
福 岡	11位	1337.5
岡 山	12位	1267
兵 庫	13位	1184.5
三 重	14位	1181.5
鹿 児 島	15位	1151
長 野	16位	1090
静 岡	17位	1083.5
栃 木	18位	1075.5
岐 阜	19位	1060
愛 鳥	20位	1044.5
愛 媛	21位	1021.5
和歌山	22位	997
大 分	23位	921.5
山 口	24位	908
香 川	25位	906
長 崎	26位	903
奈 良	27位	899.5
宮 城	28位	882.5
熊 本	29位	879
滋 賀	30位	870.5
岩 手	31位	850
山 形	32位	848
佐 賀	33位	830.5
新 潟	34位	826.5
石 川	35位	816.5
富 山	36位	815.5
山 梨	37位	809
群 馬	38位	789.5
福 島	39位	783.5
島 根	40位	725
宮 崎	41位	718
沖 縄	42位	715.5
鳥 取	43位	714
秋 田	44位	707.5
青 森	45位	694
高 知	46位	630
徳 島	47位	614

皇 后 杯

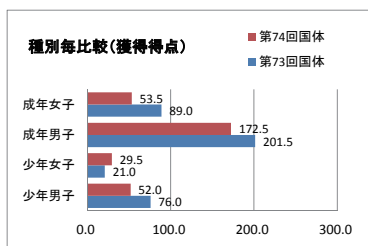
(女子総合得点)

県名	順位	得 点
茨 城	1位	1331
東 京	2位	1286.5
愛 知	3位	1043.5
埼 玉	4位	997.5
大 阪	5位	926
京 都	6位	807.5
千 葉	7位	801.5
兵 庫	8位	787
神奈川	9位	771
福 井	10位	759.5
福 岡	11位	746.5
鹿 児 島	12位	683.5
愛 媛	13位	666
長 野	14位	655.5
岡 山	15位	647
広 島	15位	647
北海道	17位	636
岐 阜	18位	633.5
静 岡	19位	623
三 重	20位	619
群 馬	21位	583.5
石 川	22位	573.5
山 形	23位	568
大 分	24位	558
長 崎	25位	554.5
栃 木	26位	551
鳥 取	27位	543
滋 賀	28位	518.5
和歌山	29位	515.5
佐 賀	30位	514.5
岩 手	31位	507.5
富 山	32位	506.5
山 口	33位	497.5
熊 本	34位	489
山 梨	35位	484.5
福 島	36位	484
青 森	37位	471
宮 城	38位	469.5
香 川	39位	459
奈 良	40位	458.5
新 潟	41位	457
宮 崎	42位	442.5
秋 田	43位	433
島 根	44位	426
徳 島	45位	419.5
沖 縄	46位	418
高 知	47位	369

第73、74回大会 得点一覧比較

■ : 種目なし □ : 出場なし 数値 : 獲得得点

競 技 名	平成30年 第73回国体					令和元年 第74回国体				
	獲得得点				合計	獲得得点				合計
	少年	女	成年	女		少年	女	成年	女	
スケート(スピード)	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	2.0	0.0	—	2.0
スケート(フィギュア)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
アイスホッケー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
スキー	35.0	8.5	36.0	30.5	110.0	27.0	20.5	47.5	17.5	112.5
陸上競技	10.0	0.0	2.0	3.0	15.0	8.0	1.0	0.0	8.0	17.0
水泳(競泳)	2.0	0.0	0.0	—	2.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0
水泳(水球)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
水泳(OWS)	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
水泳(飛込)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
水泳(ATS)	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
サッカー	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
テニス	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
ボート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
ホッケー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
ボクシング	—	—	—	—	0.0	—	—	—	2.5	2.5
バレーボール	7.5	0.0	0.0	—	7.5	—	—	—	—	0.0
ビーチバレーボール	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0
体操(競技)	0.0	—	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0
体操(新体操)	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0
トランポリン	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
バスケットボール	0.0	12.5	40.0	—	52.5	—	0.0	40.0	0.0	40.0
レスリング	7.5	—	20.5	2.5	30.5	10.5	—	13.5	0.0	24.0
セーリング	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウエイトリフティング	0.0	—	15.0	—	15.0	0.0	—	5.0	0.0	5.0
ハンドボール	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
自転車	0.0	—	0.0	0.0	0.0	1.0	—	0.0	0.0	1.0
ソフトテニス	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
卓球	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
軟式野球	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
相撲	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
馬術	3.0	—	0.0	0.0	3.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
フェンシング	6.0	0.0	24.0	0.0	30.0	0.0	6.0	24.0	18.0	48.0
柔道	—	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0
ソフトボール	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
バドミントン	—	—	0.0	24.0	24.0	—	—	—	7.5	7.5
弓道	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	15.0	—	15.0
ライフル射撃	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
剣道	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
ラグビーフットボール	0.0	—	30.0	0.0	30.0	—	—	7.5	—	7.5
スポーツクライミング	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
カヌー(SL・WW)	—	—	25.0	14.0	39.0	—	—	11.0	0.0	11.0
カヌー(SP)	5.0	—	—	15.0	20.0	3.0	—	—	—	3.0
アーチェリー	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
空手道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5
銃剣道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
クレー射撃	—	—	9.0	—	9.0	—	—	6.0	—	6.0
なぎなた	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0
ボウリング	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
ゴルフ	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
トライアスロン	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
小 計	76.0	21.0	201.5	89.0	387.5	52.0	29.5	172.5	53.5	307.5
得点割合(%)	19.6	5.4	52.0	23.0		16.9	9.6	56.1	17.4	
少年・成年別得点	97.0	—	290.5	—		81.5	—	226.0	—	
同 割合(%)	25.0	—	75.0	—		26.5	—	73.5	—	
男・女別得点	277.5	—	110.0	—		224.5	—	83.0	—	
同 割合(%)	71.6	—	28.4	—		73.0	—	27.0	—	
天皇杯得点・順位			787.5点	38位				707.5点	44位	
皇后杯得点・順位			450.0点	39位				433.0点	43位	





## 第74回国民体育大会秋田県選手団報告会 チームAKITA国体戦略ミーティング

令和元年11月25日(月)、秋田市のイヤタカを会場として「第74回国民体育大会秋田県選手団報告会」と「チームAKITA国体戦略ミーティング」を開催しました。各競技団体役員及び強化担当者等約90名が参加し今国体の振り返り、次回国体へ向けて競技団体の垣根を越えて課題を共有するとともに、課題解決の方策への意見交換などを行いました。

### 第74回国民体育大会秋田県選手団報告会

#### 会秋田県選手団報告会



報告会では、本会会長小笠原直樹からバスケットボール成年男子での3連覇など輝かしい成果と共に、過去最低となった天皇杯44位、皇后杯43位への低迷について

話がありました。その中で、少年種別において強化拠点校が国体出場を逃していることなどにも触れました。

さらには、国体会場で感じたこととして「秋田のチームは何か一つ足りない、それは勝敗に対する執念、秋田の選手は実力も技も備わっているが、泥臭さがなく勝負に対する執念が希薄である。競技大会として、最後まで勝負を諦めない、劣勢に立っても何くそと思う、なにくそ魂みたいなものが希薄だったのではないか。」という話がありました。

続いて来賓挨拶として秋田県観光文化スポーツ部スポーツ振興課課長吉井和人氏より「これまでの強化策の見直しを図りスポーツ王国秋田復活に向けて取り組んで頂きたい。」「県選手の活躍は県民に感動と勇気を次世代のジュニア選手には夢と希望を与えるとともに秋田を元気にしてくれるものである。」とお話をいただきました。



続いて、県教育庁保健体育課課長高橋周也氏からは、秋田型高校野球育成・強化プロジェクトの話を通して、「県内指導者の更なる意識改革、マネジメント能力が求められる、各競技団体には今後のビジョンと目標を描きながら、たぎる情熱をもって引き続き望んでいただきたい。」とお話をいただきました。



続いて、本会事業課課長代理齋藤伸行から、国体結果概要と競技団体ヒアリングからの情報をもとに競技団体の課題について説明がありました。

【得点・順位】 天皇杯 707.5点 44位  
皇后杯 433点 43位

#### 【成果の出た取り組み等】

- 競技団体としての若年層からの一貫指導の成果で有る、チームの団結力の高まりを感じることができた。
- 東北各県と連携した強化の実践により成果がでた。等

#### 【課題】

- インターハイで引退する選手の国体へのモチベーションが高まらない。
- 選抜チーム活動において各学校からの理解、協力を十分に得ることができていない。
- 本番における過度な緊張によるパフォーマンスの低下。
- 県内全体のレベルが低く、突出した選手の練習相手がいなく、日常の練習を高めることが難しい。等

会の最後に本会副会長田口将より、スポーツ立県秋田を標榜する県民の期待に応えることができなかった今国体の



結果を真摯に受け止めると共に、結団式におけるなぎなた少年女子藤枝選手の「種目から種目へ心を繋いで頑張ろう」という決意表明の言葉から「国体の持つ意味、国体に向かう意識について種別を越えて再認識しなければならない」「既存のものは全て1から見直す覚悟を持って強化策を考え、すぐにアクションを起こしていただきたい。」という国体総括により報告会を閉じました。



### チームAKITA国体戦略ミーティング

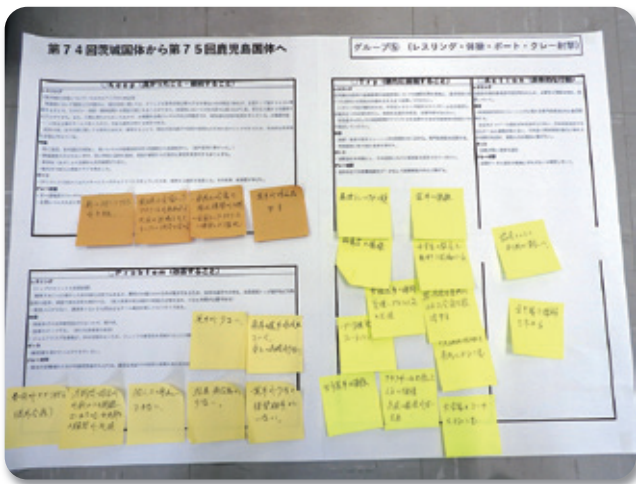
報告会のあとに、今国体の結果を受けて来年の鹿児島国体での巻き返しを図るべく、各競技団体の競技力向上・発展に向け新しい手立てを考え実行に移すため、競技団体の垣根を越えたグループワークを実施しました。

KPTA 型思考フレームワークを用いて、グループ毎に話し合いを進める形で行いました。事前に各競技団体へは、KPTA シートの作成をお願いし、当日資料としました。

KPTA シートとは、今国体の振り返りを以下の点で整理してまとめたものです。

- K (Keep) 良かった点、継続していく点
- P (Problem) 課題と感じていること
- T (Try) 挑戦したいこと
- A (Action) すぐにでも実行できること

グループワークでは、限られた時間の中で、活発な話し合いが展開されていました。参加された各競技団体の方々への学びの姿勢には感心しました。競技団体内での当たり前が、他の競技団体にとっての新しい発見であったり、お互いに同じ悩みを抱えていたり、様々な発見があったと感じています。話し合いで出てきた新しい問題や、解決策は付箋紙に貼られグループシートが彩られていきました。そうして出てきたことをアクションに移して頂ければと思います。



グループ活動のまとめとして、各グループから発表をしていただきました。

セーリング競技高橋陵さんからは、「ジュニア選手の意欲を高め、目的意識を持たせるために、成年選手との合同練習を実施する。特にふるさと選手とともに練習することで、ジュニア選手が意欲をもてるのではないか。今からでも強化計画に取り込みたい。」という報告がありました。

競泳競技伊藤栄悦さんからは、「陸上競技での携帯アプリの活用をして動作分析、栄養管理に役立てていること、スケートでは中学生の成長を見極めての筋力トレーニングを導入している。トライアスロンでは、競技転向に向けて他競技との連携が大切である。競泳では、栄養士を招聘して、小中高生と保護者合同の栄養に関する講習の開催を企画している。」といったすぐにでも実行できる興味深い話がありました。さらには、「お弁当業者と連携を図り、合宿弁当の作成を依頼する。」など、新しい視点の報告もありました。



自転車競技の高校強化拠点校監督高川健悟さんからは、「団体競技において選抜チームでの秋田のカラーを競技団体と作り上げていくことが大切である。また、若手の指導者、審判を育成し、常に新しい情報を取り入れやすい状況にしていくことが大切。」という各競技団体の強化・育成に関わる部分の報告がありました。

各グループの話し合いからは、他にも「他競技の練習を参考にする、他競技と交流を図る。」「様々なスポーツ種目を集めた総合型スポーツクラブ設立。」など、来年の第75回国民体育大会に向けての強化策や今後の競技団体の発展に関わる意見まで出てきました。

各競技団体内で今回のミーティングで出てきた内容を共有し、強化策としてすぐにでも実行していただきたいと思います。参加された方々の熱意によって、素晴らしい「チームAKITA 国体戦略ミーティング」となりました。

ありがとうございました。



## 高校スポーツ。いざ、冬の陣!!

- |                      |            |     |                                 |
|----------------------|------------|-----|---------------------------------|
| ●全国高等学校駅伝競走大会        | 12/22      | 京都府 | 京都市西京極総合運動公園陸上競技場               |
| ●全国高等学校バスケットボール選手権大会 | 12/23～29   | 東京都 | 武蔵野の森総合スポーツプラザ<br>エスフォルタアリーナ八王子 |
| ●全国高等学校ラグビーフットボール大会  | 12/27～1/7  | 大阪府 | 東大阪市花園ラグビー場                     |
| ●全国高校サッカー選手権大会       | 12/30～1/13 | 東京都 | 駒沢陸上競技場ほか(神奈川県・埼玉県・千葉県)         |
| ●全日本バレーボール高等学校選手権大会  | 1/5～12     | 東京都 | 武蔵野の森総合スポーツプラザ                  |



駅伝競走男子  
秋田工業高校(7年連続25回目)

主将 <sup>たかはし</sup> 高橋 <sup>ぎんが</sup> 銀河

第70回全国高等学校駅伝競走大会秋田県予選で優勝し、今年も都大路を走れる事を嬉しく思っています。今年の私達のテーマは「百錬成鋼～秋工最高順位を目指して～」です。秋田県予選では、数秒で大会記録の更新が出来ず、チームとしての未熟さを改めて痛感しました。その数秒の厳しさと悔しさ甘さに都大路で涙を流してきました。その事を胸に都大路までの期間、日々の練習に対ししっかりとした目的意識を持ち「仲間と先生方を信頼」してレース当日を迎えたいと思っています。

また、今まで支えて下さった方々と、指導して下さいった先生方への感謝の気持ちを結果で伝えられるように、1秒を大切にしたいと頑張ります。



バレーボール男子  
雄物川高校(25年連続25回目)

主将 <sup>てるい</sup> 照井 <sup>ふうま</sup> 颯真

春高予選を終え、25年連続で本戦に出場することが出来て非常に嬉しく思います。本戦に向けて、チームの課題であるブロック、レシーブの強化をし、1つでも多く勝ち上がれるようにボールに対する執着心をもって必死に戦います。3年生にとって集大成の大会になるので、3年間の思いを全力でぶつけていきたいと思えます。

これまでプレーを続けてこられたのは、監督をはじめとするスタッフや学校の先生方、地域の方々の熱いご指導やご支援があつてこそだと感じています。春高バレーでは、感謝の気持ちをもって、チーム目標である全国ベスト4を目指して全力を尽くしてきます。



駅伝競走女子  
秋田北鷹高校(2年ぶり8回目※)

※旧鷹巣高校・鷹巣農林高校の出場回数含む

主将 <sup>のろ</sup> 野呂 <sup>くれあ</sup> くれあ

チームワークを生かした走りで昨年の悔しさを晴らし、都大路の舞台上に立てること、とてもうれしく思います。

私たちはこの1年、走る以外でも強くなるために、基本的な生活習慣を見直し、チーム内のコミュニケーションの取り方などを改善し取り組んできました。普段の挨拶や時間を守るなどを徹底し、またミーティングで練習の状況を指摘し合ったり、練習で声をかけ合い、励まし合ったりしました。まだまだ上位で戦えるほどの力はありませんが、ここからさらに上を目指し這い上がれるように、チームの意識を高く持って頑張ります。そして、何事にも挑戦する気持ちで、全員が任された区間を楽しんで走ってきます。

たくさんの方々の支援や応援があることを忘れず、恩返しのできるよう頑張ります。



バレーボール女子  
秋田北高校(2年連続4回目)

主将 <sup>のなか</sup> 野中 <sup>るい</sup> 瑠衣

2年連続全日本バレーボール高校選手権大会への切符を手にすることができました。今年度、下克上のテーマのもと全国ベスト8を目標に練習を見直し、一人一人が自分を変える努力をし、様々な事に挑戦してきました。多少技術で劣る相手にも勝利を重ねることができるようになったのは、どこよりも勝るチーム力と自信をもつことができる練習をしてきたからだと思えます。しかし、目標達成には更なる強化が必要です。個人のレベルアップはもちろん、組織として1点を取る展開を増やしていきたいです。

そして春高は、北高を背負って戦うのもこのメンバーでできるのも最後の大会になります。県の代表として、たくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、最高の舞台上で最高の仲間と「全員バレー」で戦います。







**バスケットボール男子**  
**能代工業高校(2年連続48回目)**

主将 **すとう りく**  
**須藤 陸**

私達、能代工業高校バスケットボール部は、ウインターカップ秋田県予選を勝ち抜き、ウインターカップへの出場権を獲得しました。

今年の夏に行われた全国高校総体では、昨年のベスト16の壁を破り、ベスト8という結果を残すことができました。しかし、私達の目標は「日本一」であり、課題も多く残りました。全国高校総体での悔しさや経験を生かし、今は全国で戦うための手応えを掴みつつあります。

私達が日々バスケットボールに向き合えるのは、指導してくれている方々や地域の方々、全国からの支援・応援があるおかげだと思っています。集大成となるウインターカップで「日本一」を目指して「能代工業高校のバスケット」を全国の舞台上で出し切りたいと思います。



習してきました。その結果が初のウインターカップ出場に繋がり、本当に嬉しく思います。しかし、秋田県予選では、私たちが武器としている粘り強いディフェンスと走り負けないことを全国大会で通用するようにレベルアップさせなければならないことを思い知らされました。チームとしても個人としても課題を克服できるように自分に厳しく、日々の練習から120%で取り組んでいきます。

全国大会では、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちと秋田県の代表であることに責任を持ち、勝つことにこだわって全員で「心一つに」一瞬一瞬のプレーに心を込めて全力で戦ってきます。



**サッカー**  
**秋田商業高校(5年連続45回目)**

主将 **まつの まなと**  
**松野 真士**

私達秋田商業高校サッカー部は昨年、全国高校サッカー選手権大会でベスト8という結果を残しました。今年のチームは、昨年のベスト8という結果に追いつき、更に勝ってベスト4以上まで行くという目標のもとで日々トレーニングをしてきました。

全国大会への切符を手にした今、個々の技術やチームの連携などを向上させて、全国レベルに引き上げていく必要があります。特に守備で失点しないことと、ボールを失わずに保持することに力を入れ、毎日の練習に目的を持って取り組んでいきたいです。

部員43名全員で同じ目標に向かい、目標を達成することができるように、限られた時間を大切にして準備していきたいです。



**バスケットボール女子**  
**湯沢翔北高校(11年連続19回目※)**

※旧湯沢北高校の出場回数含む  
主将 **さいとう かれん**  
**齋藤 可怜**

今年もウインターカップに出場できることを嬉しく思います。夏のインターハイでは東北大会優勝校としてシード権を獲たものの、初戦敗退という結果に終わり、とても悔しい思いをしました。スピードのある相手に対する組織的ディフェンス力、試合終盤でも走り続けることのできる走力の不足が自分たちの課題だと感じました。夏の悔しさを胸に、走り込みや個々の技術面・精神面のレベルアップを目的とする取り組みを徹底し、選手一人一人が全国大会上位進出を意識して練習してきました。秋田県予選ではその成果がプレーの質の向上となってあらわれ、手応えを感じることができました。

日頃から応援して下さる学校や地域の方々、県内外から駆けつけて下さる皆様の声援に応え、伝統の攻撃的な守りと速い展開の攻めでコート駆け回りたいと思います。



**ラグビーフットボール**  
**秋田中央高校(2年連続4回目)**

主将 **ふなき まなむ**  
**船木 真夢**

先日行われた第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会秋田県予選で優勝し、2年連続12回目の花園への切符を勝ち取ることができました。この結果は、本校ラグビー部に関わって下さる方々をはじめとする多くの方々の応援や支えがあったからこそこの結果だと強く思っています。

昨年花園では1回戦で敗退し、悔しい思いをしました。今年花園は、目標である日本一を達成できるようにチーム一丸となり戦います。自分たちを支えてくれた方々、応援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、秋田県予選に参加した全てのチームの想いを背負い、秋田県代表の名に恥じぬ結果を残せるように頑張ります。



**バスケットボール女子**  
**横手城南高校(初出場)**

主将 **さいとう りほ**  
**齋藤 梨萌**

私達、横手城南女子バスケットボール部は秋田県予選大会を準優勝し、ウインターカップ出場切符を掴むことができました。今年の夏は、その切符を勝ち取るために今まで以上に必死に練



CONVERSION PROJECT

自分への挑戦!! そして発見!!

己の力を知っているか? 本当の力を知りたい挑戦者集まれ!!!

スポーツ能力測定会&スポーツ体験会
自分自身の運動能力を理解し、本当に自分に合ったスポーツを知る!!

競技経験の有無などに一切関わらず、中学1~3年生を対象としたトライアル(適性を判断するための測定会)を令和元年10月20日(日)、秋田市の県立武道館にて実施しました。今年が3回目となったこの事業には県内各地からたくさんの中学生が参加しました。スポーツ能力測定会では最新の測定機器を用いて様々な能力測定を行い、測定後にはその場で測定結果の分析やトレーニング方法のアドバイス、自分にあったスポーツに関するフィードバックも受けました。

さらに、当日はスポーツ体験会として競技団体の協力による体験ブースが出展されました。今年では過去最多の19団体の出展により、普段は見ることも体験することもなかった競技に数多く触れる機会となりました。各ブースには自分の特性にあったスポーツをその場で体験ができるということで保護者を含め多くの参加者が訪れました。

なお、今回参加してみて引き続きその競技を体験したいという中学生には、体験会や練習会の情報も提供しています。

昨年参加した中学生の中にはこの事業をきっかけに競技転向し結果を出し始めた選手もいます。ジュニア世代は何がきっかけで競技の才能が開花するかわかりません。周りからのアドバイスや新たな競技との出会いで、自分がより輝ける未来が広がる可能性も大いにあります。競技団体と一体となり秋田のスポーツ界を担う人材発掘、育成を進めていく事が求められます。このような取り組みを充実させジュニア世代の競技環境を整えていきます。

1 具体的な測定内容

- 10m スプリント
俊敏性測定
ジャンプ力、パネカ
反応ジャンプ測定

2 分析、フィードバック

- 長所と短所を明確にし、自分に合ったスポーツ、トレーニング法などのアドバイスを行う

測定風景



敏捷性測定



ジャンプ力測定

世界には発掘から2~3年で国際レベルのアスリートに成長した事例が少なくない。ベンチや応援に回った選手の中にも、埋もれるダイヤの原石はきっといる!!



フィードバック・アドバイス

他にも水球・空手道・スピードスケート、弓道の体験ブースを用意しました。

ウエイトリフティング

トランポリン・飛込

銃剣道

アーチェリー

レスリング

ライフル射撃

カヌー

バドミントン

相撲

セーリング

スキージャンプ

テニス

フェンシング

ボクシング



## 期待のジュニアアスリート VOL.5

SPAKT!  
SPORTS AKITA

秋田県中学校秋季大会において、素晴らしい成績を残した3名の選手に、大会で感じた事や今後の目標など6つのことを聞いてみました。

### いとう だいぢ 選手

御所野学院中学校1年



水泳競技

男子50m自由形優勝!

※全県秋季大会の賞状と今まで獲得したメダルをかける伊藤選手

- ① 4歳の頃、健康と体力作りのため。小さい頃から水遊びが大好きでした。
- ② 他のスポーツとは違い、人に勝つ、負けるではなく、記録としてはっきりと数字にできる競技です。己との戦いが水泳の魅力だと思っています。
- ③ 50m自由形で優勝出来ましたが、100m平泳ぎの順位やタイムは納得できる結果ではありませんでした。それでも自分の実力を受け止め、次に活かしていきたいと思います。
- ④ まずは全国JOCジュニアオリンピックと全中の標準タイムの突破を目指しています。
- ⑤ 心も体も強い選手になりたいです。
- ⑥ 全国優勝目指して頑張ります!

- ① 兄が柔道をやりたいと言って帰ってきたことがあって、自分も道場に見学に行ったのがきっかけです。
- ② 一本を取るところです!一本を目指して技をかけるところです。
- ③ 66キロ級で優勝することが出来ました。
- ④ 来年の全国中学校体育大会で優勝することです。
- ⑤ 全国でも通用する選手になりたいです。
- ⑥ 全国制覇という目標のために、向上心を持って練習に取り組みたいです。

### こまつ ゆうと 選手

本荘東中学校2年



柔道競技

男子66キロ級優勝!

※写真左 技をかける小松選手

### こばやし みひら 選手

桜中学校2年



陸上競技

女子800m走優勝!

※写真中央 先頭を走る小林選手



Q

- ① そのスポーツとの出会い・きっかけは?
- ② 競技の魅力や醍醐味はどんなところ?
- ③ 秋田県中学校秋季大会の記録・結果について
- ④ 目標にしている記録や大会はありますか?
- ⑤ どのような選手になりたいですか?
- ⑥ これからの抱負等

- ① もともと走る事が好きで、友達に誘われてクラブチームに入りました。
- ② 練習することにも楽しさがあり、その成果を発揮し大会で記録を残せた時に喜びと魅力を感じます。
- ③ 800mは2分15秒58(自己ベストは通信陸上大会の2分15秒13)。後半に腰が落ちていたので、そこをキープ出来ていたらもう少し良い記録を残せたと思います。
- ④ 目標タイムは秋田県中学校記録です。目標の大会は全国中学校体育大会とジュニアオリンピックです。どちらも出場するだけでなく予選を通過出来るようになります。
- ⑤ どんなレース展開になっても自分のレースがしっかりと出来るような選手になりたいです。
- ⑥ レース本番の天候がどのようになるのかわからないので、どんな天候でもベストをだせるように雨や雪が降っていても気持ちをいれて練習する!また練習では長距離系やスピード系どちらも行き、800m、1500m、3000mなどの種目でも走れるようにしたいです。他にも筋トレや補強、ジャンプメニューなども取り入れ、ストレッチも毎日行います。



# 令和元年度秋田県中学生強化選手育成事業

## 第1弾 パフォーマンステスト～令和元年11月9日（土）開催～

国内外で活躍できるトップアスリートを育成するため、科学的根拠に基づいた運動能力テスト「パフォーマンステスト」を実施し、選手に個々の課題を自覚させ自発的な取り組みを促しました。令和初となる本事業は、全国で戦うために昨年度からアップデートした内容となり、秋田県中学生強化選手64名、秋田県高等学校強化拠点校選手81名、総勢145名が参加する活気溢れる研修となりました。



心理状態をメンタルテストで確認



50m走



50m 8の字走



垂直跳び



トレーニングセッション



体力測定フィードバック

開講式で測定の意義を確認した後、選手はメンタルテストを実施し、競技中の自分の心理状態を宇都友博講師からフィードバックを受け、ご指導いただきました。体力測定では、長年の秋田県選手の課題となっているスピードやアジリティ面を強化すべく、50m走や50m 8の字走、50m 3往復走など様々な新種目が準備されました。選手は測定方法に苦戦しながらもどの種目にも一生懸命に取り組んでいました。また、20m シャトルランでは、日頃培った体力と強い精神力で頑張る選手の姿が多く見られ、自然と競技や校種の枠を越えて互いを励まし、エールを送る選手達は、まさに「ONE TEAM」となった瞬間でした。

今回トレーニング指導を担当して下さった浅野卓也トレーナーからは、「秋田県の選手は、50m 3往復走や、50m 8の字走のような切り返しの動作が入る種目が平均して苦手のように感じた。切り返しの動作局面で体が外側に持って行かれている選手が目立った。それは体幹の固定力の弱さからくるので引き続き体幹トレーニングをしっかりと行って克服してほしい。」とアドバイスをいただきました。

また、体力測定のフィードバックを担当して下さった遠山健太トレーナーからは、「アップデートした測定種目は、いつでも、どこでも、だれでも出来る内容となっている。年1回の測定で終わらず、定期的に実践して体力測定の数値が上がると競技力も向上することを実感してほしい。」とアドバイスをいただき、研修の幕を閉じました。



### 第16期秋田県中学生強化選手 佐藤和ノ葉選手（秋田東中学校3年 陸上競技）

普段やらないようなメニューが沢山ありになりました。特に臀部のトレーニングは重要だと知ったのでこれから活かしたいです。メンタルテストでは弱点を改善してどんな時でも実力を発揮できるような選手になりたいと思いました。



# 中・高連携強化プロジェクト

## 第2弾 指導者研修 ～令和元年11月30日(土)開催～

本県の競技力向上を目指した中・高一貫指導体制を発展させるため、指導者間におけるカテゴリーの枠を越えた連携と指導者の技術・情報等を共有し、各競技団体の競技力向上につなげました。今年度は、全県から23競技46名の指導者が集まり、他競技の指導者と交流を図りながら課題や現状を話し合い、中・高一貫指導体制について研鑽を積みました。

### プログラム1 中学生強化選手・強化拠点校選手のパフォーマンステスト結果から見た傾向と全国レベルとの比較

沼田 幹雄 講師



中学生男女、高校生男女のカテゴリーに分けてその強み弱みを分析し、各指導者へアドバイスをいただきました。部活動では、全体トレーニングになりがちですが、個人を大事にし、個人に合ったトレーニングを行うことが重要であることから、チーム内でも細分化したメニュープランニングの必要性を話されました。

### プログラム2 パフォーマンステストから見る弱点を克服するためのトレーニング方法

沼田 幹雄 講師



トレーニング実践では、先に行われたパフォーマンステストで浮き彫りになった「体幹の固定力」にフォーカスし、様々なスタビリティのポイントをご指導していただきました。僅かなつま先の向きや手の位置でトレーニングの効果が左右されることを指導者が知識として習得し、実践で確認しました。各指導者は講師の言葉を書き留めたり、動きの提示を動画で撮影するなど、意欲的に取り組みました。

### プログラム3 スペイン式部活動改革の取り組みからの考察

～充実した部活動と一貫指導の確立に向けて～

田中 京平 講師



サッカーの育成で世界トップクラスのスペインでの指導方法や事例を紹介していただきました。1回の練習を素晴らしいものにするために、時間の有効活用と目的意識の共有、指導者の準備力が重要になることを示し、「量」より「質」を重視した指導方法の改善が働き方改革にも直結することを話されました。また、選手が時間を組み立て、管理することは社会に出てからも必要な資質になるという教育的観点も配慮されていました。

### プログラム4 「他県強豪校に負けない魅力あるチームを目指して」

～中・高一貫指導の創出ディスカッション～

田中 京平 講師



競技、種別の枠を越えてグルーピングし、ディスカッションを行いました。各グループで出された課題や取り組みを共有し、選手に選ばれるチーム像について様々な角度から掘り下げ、話し合いました。田中講師からは、「自分の競技でも取り組めるものを抽出し、実践すべき。外部指導者との連携を深めた指導や、地域企業とのつながり、学校インフラ等を最大限活用し、目先の勝利に走らず、長期的視点に立った育成方針の確立につなげてほしい。」とのアドバイスをいただきました。



## 『2019アスリート支援・企業セミナー』開催報告

～秋田に定住しながら仕事と競技の両立を目指すアスリートを支援～

本会では、平成28年7月に厚生労働大臣から無料職業紹介事業の認可を受け、事業課内に「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を設置し、JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）の就職支援制度「アスナビ」をモデルに、本県におけるアスリートと企業等のマッチングサポート事業を実施しています。

令和元年11月21日（木）、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、支援企業の推進を目的に『2019アスリート支援・企業セミナー』を開催し、企業関係者や競技関係者など総勢約50名が参加しました。

開会冒頭、平成31年3月末まで採用決定していただいた新規企業4社に対して感謝状を贈呈致しました。

第1部の講演 タイトル『スポーツを巡る内外の動向』では本県出身の名古屋大学大学院教授・佐々木康さんのラグビーワールドカップにまつわる話題満載等で会場も大いに盛り上がりました。

第2部では平成31年4月1日採用の新卒現役アスリートと雇用支援企業・所属競技団体の二組が登壇、「競技と仕事の両立」事例紹介がありました。

第3部では、アスリート就職支援事業の東京オリンピック出場秋田県内定者・第1号のカヌー・スラローム佐藤彩乃選手（㈱秋田病理組織細胞診研究センター）と2019全日本選手権大会 準優勝のフェンシング・フルーレの安部慶輝選手（秋田緑ヶ丘病院）のビデオレター等映像紹介と地元タレント シャバ駄馬男さんの軽妙なトークを交えての紹介応援コーナーも盛況のうちに終わることができました。

### 《2019アスリート支援・企業セミナー》

令和元年11月21日（木）14:00～16:00 於：秋田キャッスルホテル

#### 新規採用企業感謝状贈呈式（4社）

（医）久盛会 秋田緑ヶ丘病院・ヨコウン㈱・小玉醸造㈱・㈱ドリームリンク

- 講演 演題『スポーツを巡る内外の動向』 講師 佐々木 康 大館市出身
  - ・名古屋大学大学院教授（博士：体育学）
  - ・1999 ラグビーワールドカップ日本代表テクニカルアナリスト
  - ・JOCナショナルコーチアカデミー部会スクールマスター
- 現役アスリート雇用事例紹介 (司会 シャバ駄馬男) 2組6名
  - ・ヨコウン㈱ 高橋 駿平（ライフル射撃・エアピストル）秋田県ライフル射撃協会
  - ・小玉醸造㈱ 土橋 奏珠（レスリング・フリースタイル）秋田県レスリング協会
- メダルを目指す秋田のトップアスリート紹介 (司会 シャバ駄馬男) 映像紹介（ビデオレター他）
  - ・佐藤 彩乃 カヌー・スラローム (㈱秋田病理組織細胞診研究センター)
  - ※東京オリンピック内定秋田県第1号（アスリート就職支援事業支援者）
  - ・安部 慶輝 フェンシング・フルーレ (医)久盛会 秋田緑ヶ丘病院
- 競技活動サポート事業説明



第1部 講演 佐々木 康 名大教授



第2部 雇用事例紹介



第3部 メダルを目指す選手紹介

### 令和元年度マッチング状況 12月1日現在（アスリート競技活動サポート事業適用）

- |      |                      |              |
|------|----------------------|--------------|
| 三島 廉 | 選手（カヌー・スラローム）・万六建設㈱  | 令和2年4月1日雇用予定 |
|      | 東京都青梅市出身 日本体育大学4年    |              |
| 三浦 心 | 選手（競泳・バタフライ）・㈱エイジェック | 令和2年4月1日雇用予定 |
|      | 秋田市出身 中京大学4年         |              |



## トップアスリートの雇用企業に対して感謝状を贈呈しました

本会では、平成 28 年 7 月より、厚生労働大臣から認可を受け、「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を開設し、秋田に就職し、競技活動を継続できるようにアスリートと企業のマッチングサポート事業を実施しており、これまで 13 人のアスリートと 12 社とのマッチングが成立しました。

このたび、平成 30 年度に採用していただいた企業に対して、「アスリートの雇用に深い理解を示され、本県スポーツの競技力向上と普及・振興に多大なる貢献をされた」として、2019 アスリート支援・企業セミナー（令和元年 11 月 21 日開催）にて感謝状を贈呈しました。



感謝状

### ★感謝状を贈呈した企業★

医療法人 久盛会 秋田緑ヶ丘病院（秋田市）

ヨコウン株式会社（本社：横手市）

小玉醸造株式会社（本社：潟上市）

株式会社ドリームリンク（本社：秋田市）

有限会社鶴の湯温泉（本社：仙北市）

※鶴の湯温泉様には、平成 29 年度に続き 2 人目の雇用をしていただきました。



県観光文化スポーツ部  
スポーツ振興課 吉井課長の挨拶



ヨコウン(株)  
取締役 管理本部長 山縣様



小玉醸造(株)  
取締役 管理部長 一関様

## 令和元年度 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者として、永年にわたりスポーツの指導育成及び組織化、競技力向上などに貢献し、顕著な功績が認められた本会推薦の 4 名が表彰を受けました。表彰式は、令和元年 12 月 7 日（土）に東京都「TKP ガーデンシティ品川」で行われました。

- 長 井 健 様（テニスコーチ 3、テニス上級教師、スキーコーチ 2）
- 柴 田 恵 吉 様（ジュニアスポーツ指導員、ソフトテニスコーチ 1）
- 石 井 実 様（銃剣道コーチ 2）
- 藤 原 聖 一 様（空手道コーチ 4）

（2019 年 4 月から競技資格の名称が変わりました）



## 秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

～地区交流会・全県交流大会～

今年度予定していた5事業も、7月25日開催の県北地区交流会を皮切りに10月28日開催の県央地区交流会まで予定どおり終了いたしました。

(県北地区交流会 7/25 開催 [主管クラブ] ふじさとスポーツクラブと、グラウンド・ゴルフ交流大会 9/8 開催 [主管クラブ] おたスポーツクラブの記事は、第193号に掲載しております。)

### ◎県南地区クラブ交流会《10月11日(金)》

[主管クラブ] 美郷町総合型スポーツクラブ  
主会場/美郷町宿泊交流館『ワクアス』  
参加7クラブ、参加総数 23名  
『ワクアス』施設見学～ノルディックウォーキング  
(『ワクアス』～美郷町総合体育館『リリオス』往復コース)



県南地区クラブ交流会

### ◎全県8人制バレーボール交流大会《10月26日(土)》

[主管クラブ] 琴丘地域スポーツクラブ連盟  
会場/琴丘総合体育館  
参加 11クラブ 15チーム、参加総数 約 180名  
(男女混合の部 12チーム、女子の部 3チーム)  
(混合 A 優勝) 森吉クマガラススポーツクラブ、(混合 B 優勝) あいあいクラブ  
たかのす、(混合 C 優勝) たかのす楽遊クラブ、(女子の部優勝) 和楽美会



8人制バレーボール交流大会

### ◎県央地区交流会《10月28日(月)》

[主管クラブ] グリーンスポーツ倶楽部  
会場/ CNA アリーナ★あきた  
参加3クラブ、参加総数 約 120名  
交流種目①体操 (ストレッチ体操・筋トレ・柔軟体操)  
②ボール種目/ビニールバレーボール・バドミントン・ミニテニス・卓球



県央地区クラブ交流会

## 東京オリンピック・パラリンピック候補選手 支援募金ゴルフ大会を開催しました

10月29日(火) 県体協主催「東京オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金ゴルフ大会」を大仙市のロイヤルセンチュリーゴルフ倶楽部にて開催しました。多くの皆様から大会主旨にご賛同いただき、総額 180 千円の寄付金を頂戴しました。

また、開催にあたり、多数の企業からご協賛をいただき、参加者の賞品として活用させていただいたほか、会場であるロイヤルセンチュリーゴルフ倶楽部様からも様々なご配慮をいただきました。頂戴しました寄付金は、東京オリンピック・パラリンピック候補選手を支援するために活用させていただきます。

参加者の皆様やご協賛各社をはじめ、ご支援くださった皆様に深く感謝申し上げます。



齊藤専務理事(左)と優勝者の米澤様(右)

★協賛企業★ 秋田酒類製造(株) 秋田放送 秋田いすゞ自動車(株) アシックスジャパン(株) 株光風舎  
秋田ノーザンハピネッツ(株) 秋田ビューホテル みちのくコカ・コーラボトリング(株) 小玉醸造(株)  
ヨコウン(株) 株秋田魁新報社 秋田ゼロックス(株) ミズノ(株) 株秋田中央機工 秋田テレビ(株)  
株しもむら 大塚製薬(株)秋田出張所 (有)佐藤養助商店 株秋田病理組織細胞診研究センター  
秋田ステーションビル(株) 株秋田キャッスルホテル





## バスケットボール競技普及等助成事業 ご報告

令和元年6月、秋田ノーザンハピネット株式会社から、本県のバスケットボール競技の振興等に役立ててほしいと、チームのファンクラブ「クラブハピネット」の年会費の一部より、100万円の寄付がありました。(H26年度から6年連続、寄付総額600万円)

県体協では、「バスケットボール競技普及等助成事業」として、デジタイマやショットクロック、ボールなど用具購入等に活用させていただいております。

秋田ノーザンハピネット株式会社様、クラブハピネット会員の皆様、ご寄付ありがとうございました。チームの益々の躍進と発展を祈念しております。

(令和元年度助成先 34団体)

浅内スポーツ少年団

八竜MBC男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

八郎瀧小学校女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

船越女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

秋田東小女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

牛島男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

川尻男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

港北女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

尾崎女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

鶴舞男子バスケットボールスポーツ少年団

刈和野ハリキリシューターズ

生保内イーストウィンズ

西明寺桜木内ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団

仙南MBCスポーツ少年団

醍醐女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

秋田県バスケットボール協会ユース育成委員会U15部会

増田女子ミニバスケットボールスポーツ少年団



港北男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

旭川女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

土崎南男子・女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

外旭川男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

旭南ミニバスケットボールスポーツ少年団

土崎3×3クラブスポーツ少年団

秋田東小男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

飯島女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

高清水女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

大雄女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

横手市バスケットボール協会十文字支部

大森BBCスポーツ少年団

UMMミニバスケットボールスポーツ少年団

十文字ミニバスケットボールスポーツ少年団

須川スポーツ少年団

山田ミニバスケットボールスポーツ少年団

秋田県特別支援学校体育連盟



## 県内スポーツの主なできごと

- 9月  
 23日 ジャパンパラ大会 男子50m背泳ぎで菅原紘汰（秋田きらり支援高等部3年）が日本新で優勝  
 25日 弓道の第70回全日本男子選手権大会で成田祐也（県連盟）が準優勝  
 28日 県剣道連盟所属の今功夫氏が「第14回日本スポーツグランプリ」を受賞  
 29日 カザフスタンで行われた世界カデ柔道選手権 男女混合団体でメンバー入りした菅原光輝（東海大相模2年-天王中出身）が優勝に貢献
- 10月  
 20日 カヌースラローム女子カナディアンシングルで佐藤彩乃（秋田病理組織細胞診研究センター）が五輪代表に内定 県勢第1号  
 20日 秋田県タレント発掘合同トライアル事業 スポーツ能力測定会&スポーツ体験会を開催  
 25日 フェンシングアジアU-23選手権大会女子エペで成田琉夏（専大1年-聖霊高出身）が優勝、団体戦では男子フルーレで出場した安部慶輝（秋田緑ヶ丘病院）が優勝に貢献
- 11月  
 1日 空手の全日本形競技選手権12~14歳男子で優勝した高橋明暖（羽後中2年）、国際青少年選手権組手13、14歳男子55キロ級で準優勝の菅天希（羽後中3年）が県庁を訪れ大会の報告を行う  
 2日 レスリングのU-23世界選手権男子グレコローマンスタイル77キロ級で櫻庭功大（自衛隊-秋田商高出身）が準優勝  
 3日 フェンシングの全日本選手権男子フルーレで安部慶輝（秋田緑ヶ丘病院）が準優勝  
 9日 秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト「パフォーマンステスト」を開催  
 11日 全日本学生フェンシング選手権の女子エペで成田琉夏（専大1年-聖霊高出身）が優勝、男子フルーレで松淵真平（日大2年-北鷹高出身）が2位  
 21日 「2019アスリート支援・企業セミナー」を開催  
 23日 パラ競泳日本選手権 男子50m背泳ぎで菅原紘汰（秋田きらり支援高等部3年）が9月に自らが出した日本新記録を更新して優勝、また、200m自由形でも大会新記録で優勝  
 23日 日本水泳連盟の有功章に県水泳連盟参与の伊藤勝氏が選ばれる  
 24日 バドミントン韓国マスターズ 女子ダブルスで志田千陽（再春館製薬所-八郎潟町出身）・松山組が初優勝  
 26日 2021年に続き、22年にも鹿角市での冬季国体スキー競技の開催が決定  
 23日 秋田県競技力向上連絡協議会・第17期秋田県中学生強化選手指定証交付式を開催  
 30日 秋田県中学生強化選手育成事業 中・高連携強化プロジェクト「指導者研修会」を開催  
 30日 秋田市文化会館で寝技中心の格闘技大会「QUINTED」が開催され、櫻庭和志氏（潟上市出身）が県スポーツ大使に任命される

## 秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。公益財団法人への寄付は、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）等の特例対象となります。スポーツ立県を支え、実現していくために多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

令和元年10月1日から令和元年11月30日までの間、寄付申込みをいただいた法人・団体・個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

- 【法人・団体】 株式会社石川組 有限会社石心 タプロス株式会社 株式会社トヨタレンタリース秋田  
 株式会社寒風 有限会社東立 北秋生コン株式会社 医療法人久幸会

## 令和元年度 秋田県体育協会 賛助会員

県体育協会の賛助会員として、事業推進にご協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 【個人会員】 杉江 順一

## 令和元年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠にありがとうございます。

今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

羽後町体育協会創立60周年記念式典	10月13日	羽後町活性化センター
秋田県総合公社設立20周年記念式典	11月8日	秋田キャッスルホテル
秋田県中学校体育連盟創立70周年記念式典	11月29日	秋田ビューホテル

### 編集後記

第74回いきいき茨城ゆめ国体2019が終了し、天皇杯44位・皇后杯43位と過去最低となりました。そういった中でも3連覇を果たしたバスケットボール競技成年男子など地力でまさる結果もありました。秋田の強みを発揮する強化策を進めるために、思いを新たに「チームAKITA」が一丸となる時がきていると考えます。

そのためにも、これから始まる冬の陣、お家芸といわれた競技など前大会迄を上回る活躍を期待したいと思います。

最後に、本誌の発行にあたり、ご多用の折、取材・原稿執筆などご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。



輝きを 汗に 瞳に このまちに  
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 … に

ア リ ナ ス 宿 泊 ラ 室  
ト レ ニ ン グ ル ー ム ス ト ラ ン 場  
温 水 プ ー ル 室 温 泉 浴 場  
研 修 ル ー ム (サウナ有)  
ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1  
JR能代駅から車で10分  
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322  
http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp  
/kouryuu/arinasu/list.html

駄菓子・ワジ・縁日グッズ  
お菓子の袋詰

問屋

しもむら

駄菓子のしもむら

検索

☎018-832-6766

株式会社松 田

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 洸 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号  
TEL 0186-49-0280  
FAX 0186-43-0002

株式会湯沢生コン  
地域の発展とともに  
松田グループ 株式会社丸栄建設



株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容  
会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・  
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

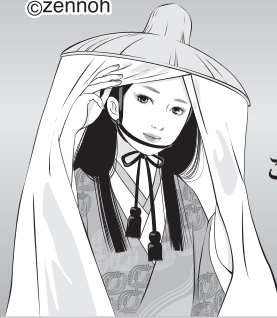
税理士法人  
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一  
税理士 横 山 富 夫  
税理士 菅 谷 浩 浩

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022  
横山会計 / 秋田市川尻若葉町4番37号 Tel.018-862-6388  
菅谷会計 / 秋田市土崎港東二丁目16番24号 Tel.018-845-5648

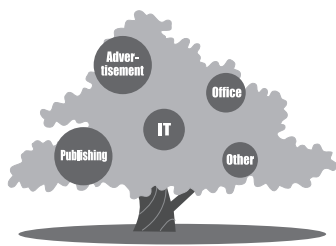
皆様に愛され続けて

©zenoh



この秋、あきたこまちは  
35周年を迎えました  
美人を育む秋田米

JAグループ秋田・JA全農あきた



想  
像  
か  
ら  
創  
造  
へ

あらゆるニーズにお応えする

松原印刷社

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29  
TEL 018-862-8760  
FAX 018-863-0005  
http://www.matsubarainsatsu.co.jp





仲間と一緒に  
楽しく

小さな掛金、大きな補償

# スポーツ安全保険<sup>®</sup>

  
4名以上の団体・グループで  
ご加入ください。

 傷害保険

 賠償責任保険

 突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体・グループでの活動中の事故／往復中の事故

保険期間

2019年4月1日午前0時から2020年3月31日午後12時まで（申込受付は2019年3月から）

掛金

掛金（1人年額800円～1,850円）は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります。ただし、危険度の高いスポーツを補償するD区分は11,000円

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。  
（例）A1・A2・C区分の方は、死亡2,000万円、後遺障害最高3,000万円



公益財団法人 **スポーツ安全協会** 秋田県支部

（公財）秋田県体育協会内

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5  
秋田県スポーツ科学センター内

TEL

**018-883-0360**

電話受付時間

午前8時30分～午後5時（土、日、祝日を除く。）



保険の詳しい内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第2部 文教公務室  
TEL 03-3515-4346（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（2019年4月予定）〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災  
損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動  
日新火災 三井住友海上 AIG損保

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）付帯普通傷害保険賠償責任担保条項））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

2018年12月作成 18-TC02857